

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	全 員 協 議 会	場 所	全 員 協 議 会 室
		担 当 職 員	熊 谷 夏 子
日 時	令 和 2 年 7 月 1 5 日 (水 曜 日)	開 議	1 3 時 3 0 分
		閉 議	1 5 時 1 2 分
出 席 議 員	議 員 2 0 名 (欠 席 議 員 4 名 は 7 月 1 6 日 に 別 途 報 告 を 受 け る 予 定)		
執 行 機 関 出 席 者	仲 山 副 市 長、浦 企 画 管 理 部 長、田 中 生 涯 学 習 部 長、由 良 環 境 市 民 部 長、 田 中 企 画 調 整 課 長、小 塩 文 化 国 際 課 長、山 内 環 境 政 策 課 長、三 宅 商 工 観 光 課 長、農 林 振 興 課 平 井 係 長		
事 務 局 出 席 者	山 内 議 会 事 務 局 長、井 上 議 会 事 務 局 次 長、鈴 木 議 事 調 査 係 長、 山 内 主 事、熊 谷		
傍 聴	可・否	市 民 1 名、報 道 関 係 者 1 名	

会 議 の 概 要

開 議 1 3 : 3 0

1 開 議

〔齊藤議長 開議〕

〔事務局長 日程説明〕

2 行政報告

○亀岡市の地方創生戦略とSDGsを含めた今後の展開について

〔仲山副市長等 入室〕

〔仲山副市長 説明〕

〔質 疑〕

<三宅議員>

今後、この計画を実行していく部署はどこか。

<仲山副市長>

後任の副市長はいない。多数の部署にまたがる。駅北開発については、まちづくり推進部、商工観光課が中心となる。芸術祭、SDGsに関しては全庁的にまとめていくのは企画調整課となるが、各事業はそれを所管する環境政策課、文化国際課の両課が共同事務局として実務者をまとめていくことになる。

<長澤議員>

亀岡の農業の特徴に関連して、経済合理性とコミュニティ機能についてお話いただいた。農業に限らず、経済全体が経済合理性だけではなく、地域社会の豊かなコミュニティの土壌（社会関係資本）があってこそ、経済合理性を追求する活動が発展していく。亀岡のSDGsの取り組みもそういった方向を向いていることを願う。何かコメントをいただけるか。

<仲山副市長>

まちづくりの新しい論文で、コミュニティが活性化すればするほど、地産地消が進み、経済活動が活発化するという事象が出始めている。今までは、経済とコミュニティは2元論で、どちらをとるか両極の議論が多かったが、地方創生の考え方は、コミュニティ活動を活発化させるほど、よりよい経済になるとされている。農業だけでなく、亀岡市のまち全体のコミュニティ活動が強いほど、それが経済的によい結果を出してくれる。農業はその象徴でしかない。逆に農業以外の分野、例えば飲食事業などでもコミュニティが強いほど商業が盛んになり、結果的に持ちつ持たれつでみんなが守られる。しかし、小さいところだけ守っても、大きいところが入ってきたときに全てが流れてしまう。よって、大資本に集客させつつ、その周辺で中小事業もそこに食い込んでいくことが、経済とコミュニティにとってあるべき融合ではと考える。

<大塚議員>

基本的に稼げるまちをつくるのが話の前提だったと思う。農業は稼げるかといえ、弱い部分があるかもしれない。亀岡の特徴を考える上で農業は大事であり、有機農業やJASを認定する制度をつくるなど、新規就農者といった若い人を取り込んでいくという施策はよくわかる。亀岡市においても日本全体においても、99%が一般的農業であり、1%弱が有機で頑張っている。そういう人をこれから育て、守るためには、行政の力が必要である。一定の補助を頼っていても、それだけでは難しい。例えば、米をつくる中で有機をしようと思えば、有機をするための条件を満たさなければならないので、行政でやりやすい環境をお力添えいただきたい。行政でやってもらわないと、地域の中で若い就農者だけでは解決できない。新規就農、有機農業を全面に出すのであれば、それを守る行政の仕組みをしっかりとつくってほしいが、どうか。

<仲山副市長>

99%を敢行しているわけではなくて、スマート農業やほ場整備で担い手を含めて生かしていく。一方で1%の有機農業がブランドになって、亀岡市の農業の価値を高める可能性がある。それを支える行政のあり方は先生のおっしゃるとおりである。

有機 JAS の取得によって、流通にのるような公的認証をとることができる。しかし、農家にヒアリングすると、場所によって技術がまちまちである。有機 JAS を取るにも基準をクリアする必要があるので、規格をそろえなければならない。そこでコープ自然派とやり取りが始まっていて、一度勉強会、説明会を開いて、有機に関心がある人をしっかりと結びつけていく取り組みが始まっている。オーガニックを進める旗を出しているのも、そのようなやり取りが生まれている。そこでどういう方が関心を持っているかがわかってくるので、そういう方にヒアリングをして、どのような支援が具体的に必要か聞き取るように進めていきたい。そして彼らのニーズに合わせて、行政支援を組み立てていきたい。また、いくらよいものをつくっても、売れなければ意味がないので、流通を押さえたいと考えている。京都の中で、流通を手掛けているオーガニックに関心のある大きな会社と話し合いを今進めている。つくるところと売るところ、出口と入り口を押さえながらやっていきたい。そうしたことが生きてくるので、両極をとるような政策をしていきたい。

<齊藤議長>

まだまだ聞きたいことはあるが、時間の関係上、本日はこれで終了とする。仲山副市長、2年間ありがとうございました。

[仲山副市長等、退室]

15:08

3 その他

<齊藤議長>

事務局から連絡事項がある。

<事務局長>

事務連絡が3点ある。1点目は、議員団研修会である。京都中部総合医療センターで新型コロナウイルスの感染があり、このような状況を踏まえて、7月29日の研修会を延期させていただくこととなった。ご了承いただきたい。延期なので、改めて日程は調整させていただく。2点目は、特別議会の開催である。総務文教常任委員会から提案予定の「GIGA スクール構想に伴う国庫補助充実に係る意見書(案)」については、一昨日の議会運営委員会で説明させていただいたとおりである。特別議会で議決が必要となるのでよろしく願います。日程は、当初議員団研修会を予定していた7月29日(水)である。時間は、13時30分から議会運営委員会を開催いただき、その後本会議を開催する。また、7月21日(火)10時から議会運営委員会を開催いただく予定で、昨日メールを送っているので確認いただきたい。3点目は、文書廃棄の延期である。当日大雨警報が出されていたことから延期とな

った。11月ごろまで延期となったので、追加で廃棄されたい文書があれば第4委員会室まで搬出をお願いします。

<齊藤議長>

事務局説明のとおりである。以上で全員協議会を閉議する。

閉議 15 : 12